

## 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること

1. 「教職実践演習」で活用するために履修カルテを実施しており、資格取得という目標のために段階およびその段階における達成目標を設定している。
2. 教員として必要な資質・能力を把握すること、さらに学生が学期毎に履修科目の自己評価を行い、成果を確認すると共に更なる向上に向けて課題の精査を行っている。
3. 教員の資質向上のための改善策として、学術教育研究会を1年度間に3～4回実施し、具体的教育研究・実践内容について順次発表を行い、研究討議を行うことによって、全教員が資質向上に向けて取り組んでいる。また、1年度間に1～2回、公開授業の期間を設け、その期間に実際の授業を教員間で公開し、相互啓発に取り組んでいる。
4. 学内サーバーの共用フォルダーを利用した活動報告を行うことにより、各委員会・部会の活動内容が可視化され、自己点検・評価委員会のみならず教員相互による点検・評価を行っている。